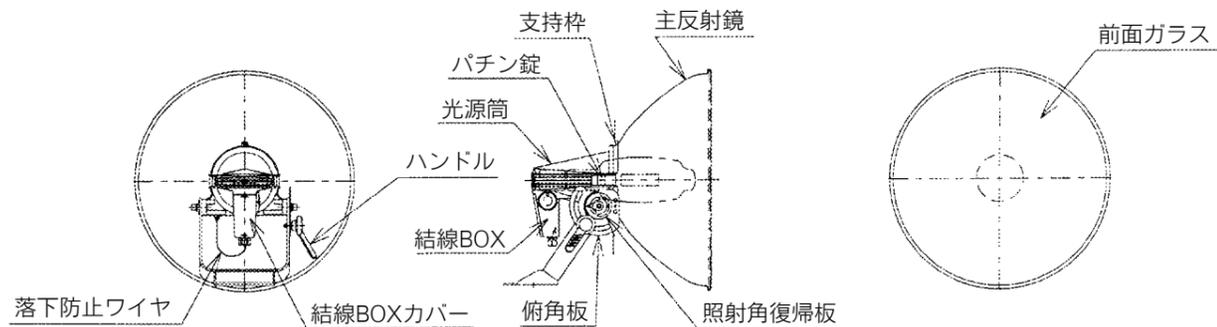


製品概要

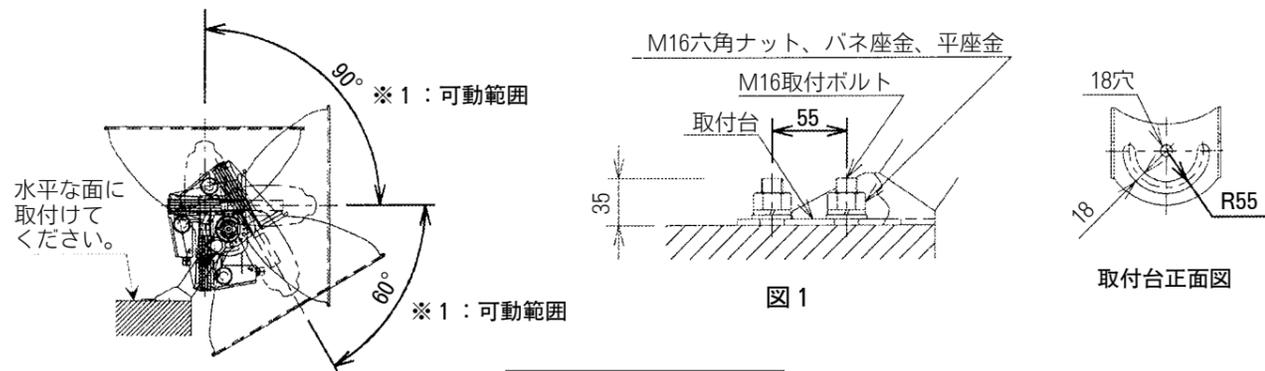
名称	アクロスター							
仕様	一般仕様		ステンレス仕様		一般仕様内蔵ルーバ付		ステンレス仕様内蔵ルーバ付	
形式	H5322S	H5322D	H5312S	H5312D	H5322SL	H5322DL	H5312SL	H5312DL
	H5321SZ	H5321DZ	H5311SZ	H5311DZ	H5321SZL	H5321DZL	H5311SZL	H5311DZL
	H5322SZ	H5322DZ	H5312SZ	H5312DZ	H5322SZL	H5322DZL	H5312SZL	H5312DZL
適合ランプ	MT1500B/BH-M (-UVC), MT1000B/BH-M (-UVC), NHT940LS, NHT660LS, MT1500B-D/BH, MT1000B-D/BH							
質量	8.8kg ± 10%				9.0kg ± 10%			
※1可動範囲	上向90° ~ 水平0° ~ 下向60° まで							
使用場所	屋外の一般的な場所							
防水性能	防雨形							
※2使用温度範囲	-5℃ ~ 35℃ (1500W使用時は30℃)							
被照射面との距離	3m以上							

各部の名称 (一部省略抽象化してあります)



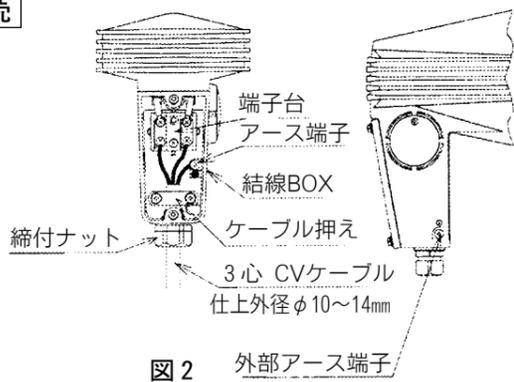
1. 投光器の取付

- 照射方向は、建造物とアームとの位置関係に注意して反射鏡が建造物に触れないようにしてください。
- 投光器は下図のように可動範囲内で使用してください。
※1：ランプの点灯姿勢に制限がありますので、ランプの使用可能範囲をご確認のうえ、ご使用ください。
- 投光器は建造物の取付面に図1の取付穴間隔で取付ボルトM16を2本設置し、取付台を挿入して平座金、バネ座金、ナットで確実に締付けてください。取付けが不完全な場合、器具落下によるケガの原因になることがあります。



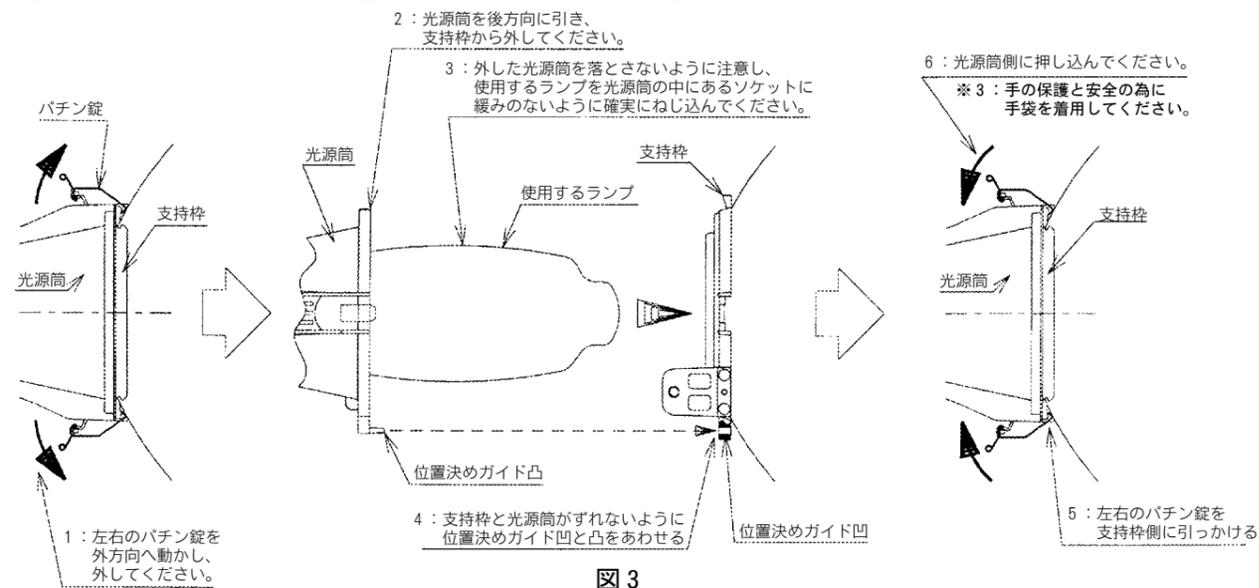
2. 電源線の接続

- 結線BOXカバーをネジ2本を緩めてカバーを取外してください。
- 安定器の二次側配線は600V架橋ポリエチレン絶縁ビニールシースケーブル (CVケーブル) と同等以上の性能を有する仕上外径φ10~14mmの2mm²3心ケーブルを、ケーブル締付ナットを通して、図2のように端子台に結線して3心ケーブルをケーブル押えにて固定してください。
- 結線BOXカバーをネジ2本を均等に締付けて雨水が入らないように確実に取付けてください。また、ケーブル締付ナットも雨水が入らないように確実に締付けてください。
- 器具のアースは、結線BOX内のアース端子、または外部アース端子を利用して、D種接地工事をおこなってください。



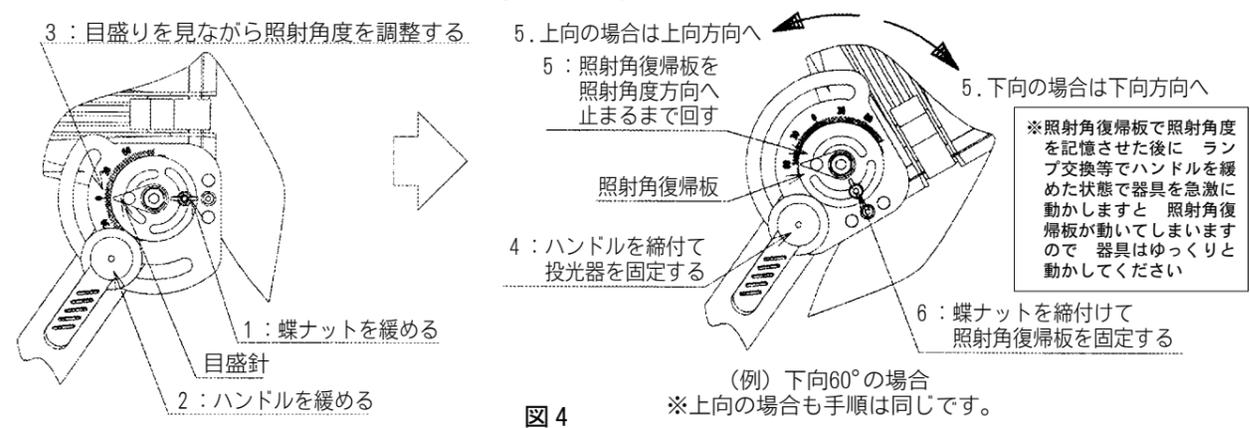
3. ランプの取付、および交換

- ランプの取付、および交換の前に感電防止のため主電源を切ってください。
- 器具の外面が十分に冷えていることを確認してください。熱い状態での作業は手をやけどします。
- ※3：ランプの取付、および交換の前に手の保護として手袋 (綿手、軍手等) の着用をしてください。
- ランプの取付、および交換は図3に従っておこなってください。



4. 照射角度(上下方向)の調整

- 照射角度の調整は、図4のように蝶ナットを緩め、次にハンドルを緩めて、目盛りを見ながら照射角度を調整して、ハンドルを再び緩みのないよう締付け、確実に固定してください。
- 照射角復帰板を器具の照射角度方向へ止まるまで回し、復帰板が止まったところで、緩めた蝶ナットを再び緩みのないよう締付けて照射角復帰板を確実に固定してください。
※この手順は器具の照射角度を機械的に記憶させる作業ですので、必ずおこなってください。
- 照射角復帰板は器具の照射角度を、機械的に記憶させる機構になっておりますので、一度記憶させた角度は、蝶ナットを緩めない限り、照射角復帰板は動きませんので、記憶させた角度は変わりません。ただし、ハンドルを緩めた状態で器具を上下方向へ急激に動かすと照射角復帰板が動いてしまいますので、器具を上下方向へ動かす時はゆっくりと動かしてください。また、照射角復帰板が動いてしまった場合と照射角度を変更される場合は、図4の手順を最初からおこなってください。
- 照準器による照射角度の微調整をご希望の場合は、最寄りの弊社営業所までご連絡ください。



安全に関するご注意

- 枯葉や枯枝が前面ガラスに舞い落ちるような場所では、外付ルーバと組み合わせて使用しないでください。発火の原因となります。
- 草や木で前面ガラスが覆われるような場所では使用しないでください。発火の原因となります。
- ※2：1500Wのランプを屋内で使用される場合は、使用温度範囲にご注意ください。使用温度範囲を超える場所で使用されますと、器具の劣化、および事故の原因となります。

使用上のご注意

- ご使用中にガラスや反射鏡が、若干白く曇る場合があります。シリコンゴムパッキンから発生する微量の揮発ガスですので、異常ではありません。柔らかい布等で拭いてからご使用ください。

取扱説明

お客様へ、この説明書は必ず保管してください。

ご使用前に、この『安全上のご注意』を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

お客様への安全上のご注意

警告

- 器具の改造、部品の交換はしないでください。
火災、感電、または落下によるケガのおそれがあります。
- 万一、煙が出たり、異臭がするなどの異常を感じたら速やかに電源を切り、販売店、または工事店にご相談ください。
異常状態のまま使用しますと火災、感電のおそれがあります。
- ランプ点灯中、および消灯直後の器具は高温になっていますので触らないでください。やけどのおそれがあります。
- ランプ交換は器具、安定器の適合とランプの使用制限を確認のうえ、おこなってください。
ランプの破裂、火災のおそれがあります。
- 器具の前面ガラスから近距離のところで長時間作業したり、ランプを直視したりしないでください。
紫外線による目や皮膚の障害をおこすことがあります。



注意

- ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切って、器具が十分冷えてからおこなってください。
感電、やけどの原因になることがあります。
- ランプ交換の際は取扱説明書に沿って確実におこなってください。
火災、感電、および落下の原因になることがあります。
- 安全に使用するために、定期的（年1回）に工事店等による点検をおこなってください。
異常がありましたら販売店、または工事店等にご相談ください。
異常状態のまま使用しますと火災、感電、および落下の原因になることがあります。
（3年以上経過したものについては入念に点検をおこなってください）
- この器具の寿命の目安は使用条件によって異なりますが、一般的な使用場所での平均寿命は8～10年です。
（安定器内蔵の器具については8年とします）。
それ以上使用しますと火災の原因になることがありますので、器具の交換をしてください。
- 亀裂の発生したガラスは交換してください。
落下のおそれがあります。



お手入れ・ランプ交換

- 器具の清掃について…汚れを落とす場合は、洗剤（薄めた中性洗剤がおすすめ）を浸したやわらかい布をよく絞って拭き取り、洗剤が残らないように乾いた布で仕上げてください。
シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり殺虫剤をかけたたりしないでください。変質、変色の原因になることがあります。
- ランプ交換について…ランプ交換は器具・安定器の適合とランプの使用制限を確認のうえ、おこなってください。
（IWASAKIのランプをご使用ください）

お客様へ ランプ交換など保守のために、下記施工記録表を確認のうえ、適切な保守用品をお求めください。
なお、安全のため保守作業はできるだけ工事店、電器店にご依頼ください。

保守のための記録

工事完了後、今後の施設の安全維持のため、各欄に記入のうえ、お客様にお渡しください。

施 工 記 録 表			
工 事 名		使用安定器	
工 事 店 名	取 付 台 数	使用電圧	
電 話 番 号	器 具 形 式	ブレーカーNo.	
取 付 年 月	使用ランプ		

商品の保証について

照明器具保証期間は、商品お買い上げ日より1年間です。ただし、HID器具・蛍光灯器具の安定器は3年間です。
安定器は磁気回路式安定器（銅鉄安定器）と電子安定器（インバータ）を対象とします。
ランプ・グロー点灯管・電池などの消耗品やセード、リモコン送信機は対象外とさせていただきます。
※保証の例外 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分とします。

商品についてのお問合せ

お問い合わせの際は器具銘板、または施工記録表で器具形式を確認のうえ、施工者、もしくは最寄りの弊社営業所までご連絡ください。

光、最先端をめざして
IWASAKI

照明器具取扱説明書

保管用

- 器具の配線工事は必ず工事店、電器店（有資格者）などに依頼してください。
一般の人の配線工事は法律で禁止されています。

施工説明

施工者様へ、この取扱説明書は、ご使用になるお客様に必ずお渡しください。

施工者様への安全上のご注意

警告

- 器具は下記の使用環境、条件では使用しないでください。
火災、感電、および落下のおそれがあります。
 - ・周囲温度が常時35℃以上の場所
 - ・振動、衝撃の激しい場所
 - ・腐食性ガス、可燃性ガスの生じる場所
 - ・粉塵の多い場所
 - ・湿度の高い場所、および水の浸る場所
 - ・可燃材に触れる場所
- 安定器内蔵の器具については、器具に組み合わせるランプを必ず確認のうえ、施工してください。
また、安定器別置の器具については、安定器（特に定格電圧と周波数）を必ず確認のうえ、施工してください。
ランプの破裂、および火災のおそれがあります。
- 施工の際は取扱説明書に沿って正しくおこなってください。
誤った取扱いがあると、火災、感電、または落下によるケガのおそれがあります。
- 電源接続は取扱説明書に沿って確実におこなってください。
接続不良による火災、感電のおそれがあります。
- アース工事は電気設備の技術基準に従い、確実におこなってください。
アースが不完全な場合は感電のおそれがあります。
- 器具の改造、部品の変更はおこなわないでください。
火災、感電、および器具の落下のおそれがあります。法令でも禁止されています。
- 器具は点灯中高温となりますので、人が容易に触れるおそれのない所で使用してください。
触れるとやけどのおそれがあります。
人が容易に触れる所で使用する場合は、柵などを設け保護対策を施してください。
- 器具は落下、火災、感電などの危険を避けるため、質量や風圧などの荷重に耐える場所に確実に取付け、器具・ランプ・安定器を布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりしないでください。
落下、火災、感電のおそれがあります。



注意

- 器具の取付けには十分注意をはらってください。
 - ・一般的な場所で使用してください。
 - ・取付面が強度不足の場合は器具の落下のおそれがありますので、器具の質量に応じて十分確認して取付けてください。
 - ・器具からの漏れ光が環境へ悪影響をおよぼす場合がありますので、取付けの際は考慮してください。
 - ・照射距離が近い場合、火災のおそれがありますので注意してください。
- 使用する電線は取扱説明書指定品と同等以上の性能を有する電線を使用してください。
指定性能以外の電線を使用すると火災、感電の原因になることがあります。
- ランプは器具銘板表示、および取扱説明書を参照し、適合するものを使用してください。
用途、条件により色むら・光むらが生じる場合があります。
また、間違ったランプを使用するとランプの破裂、火災、およびランプ・安定器の短寿命の原因になることがあります。
- 定着灯、投光器、道路灯、街路用照明器具を移動灯として使用しないでください。
破損によるケガ、やけど、故障の原因になります。

